



個人投資家向け会社説明会

2024年7月

テクマトリックス株式会社
(証券コード 3762)

本日のご説明内容

01

会社概要

02

業績推移と計画

03

当社グループの事業領域

04

人事戦略、SDGs・環境への取り組み

05

株主還元、株主優待

社名の由来

Techmatrix

テクノロジー
Technology と垂直市場の Matrix

垂直市場〔縦軸〕

(vertical market)

製造業

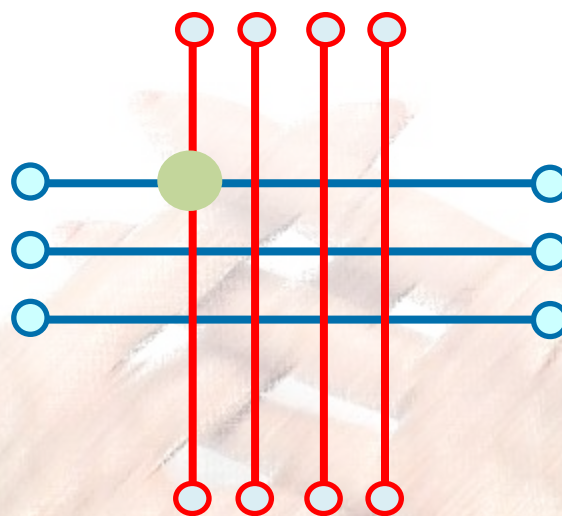
医療

コールセンター

教育

金融

通信 ...



テクノロジー〔横軸〕

アプリケーション
インフラビジネス・プロセスを効率的・効果的に
機能させるためのソフトウェア

業務支援ソフト・テストツール・BI・AI

ミドルウェア

アプリケーションの開発・実行に共通
して使用されるソフトウェアデータベース・API・オペレーティング
システム・仮想ネットワーク

インフラストラクチャー

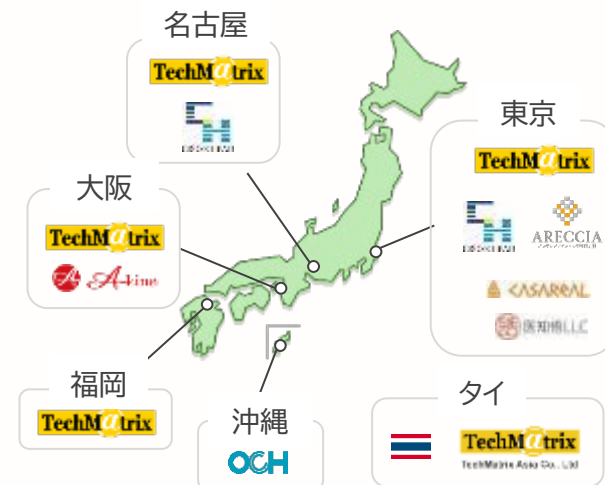
ソフトウェアを稼働させるための
ハードウェアや設備サーバー・ストレージ・ネットワーク機
器・セキュリティ対策

会社概要

商号	テクマトリックス株式会社(東証プライム:3762)																								
設立	1984年8月30日																								
資本金	12億9,812万円																								
代表者	矢井 隆晴																								
本店	東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス24F																								
支店・営業所	西日本支店(大阪) 名古屋営業所(愛知)九州営業所(福岡)																								
従業員数	1,502名 [135名] *(連結)(2024年3月末現在) *従業員数は就業人員。従業員数欄の [外書] は、 臨時従業員(派遣社員・契約社員を含む)の平均雇用人数。																								
発行済株式総数	44,518,400株																								
決算期	3月(第37期 有価証券報告書よりIFRS適用)																								
役員構成	監査等委員会設置会社 / 執行役員制度 <table border="1"><tr><td>代表取締役</td><td>矢井 隆晴</td><td>取締役</td><td>依田 佳久</td></tr><tr><td>取締役</td><td>鈴木 猛司</td><td>取締役</td><td>志賀 健也</td></tr><tr><td>社外取締役</td><td>安武 弘晃</td><td>社外取締役*1</td><td>海部 美知</td></tr><tr><td>社外取締役*1</td><td>堀江 愛利</td><td>社外取締役*2</td><td>佐々木 英之</td></tr><tr><td>社外取締役*2</td><td>高山 健</td><td>社外取締役*2</td><td>三浦 亮太</td></tr><tr><td>社外取締役*2</td><td>杉原 章郎</td><td>*1:女性取締役</td><td>*2:監査等委員</td></tr></table>	代表取締役	矢井 隆晴	取締役	依田 佳久	取締役	鈴木 猛司	取締役	志賀 健也	社外取締役	安武 弘晃	社外取締役*1	海部 美知	社外取締役*1	堀江 愛利	社外取締役*2	佐々木 英之	社外取締役*2	高山 健	社外取締役*2	三浦 亮太	社外取締役*2	杉原 章郎	*1:女性取締役	*2:監査等委員
代表取締役	矢井 隆晴	取締役	依田 佳久																						
取締役	鈴木 猛司	取締役	志賀 健也																						
社外取締役	安武 弘晃	社外取締役*1	海部 美知																						
社外取締役*1	堀江 愛利	社外取締役*2	佐々木 英之																						
社外取締役*2	高山 健	社外取締役*2	三浦 亮太																						
社外取締役*2	杉原 章郎	*1:女性取締役	*2:監査等委員																						



テクマトリックスグループ



北海道、青森、岩手、宮城、山形、福島、栃木、群馬、埼玉、東京、神奈川、新潟、石川、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、大阪、鳥取、広島、香川、愛媛、福岡、熊本、鹿児島、沖縄、タイ、ネパール

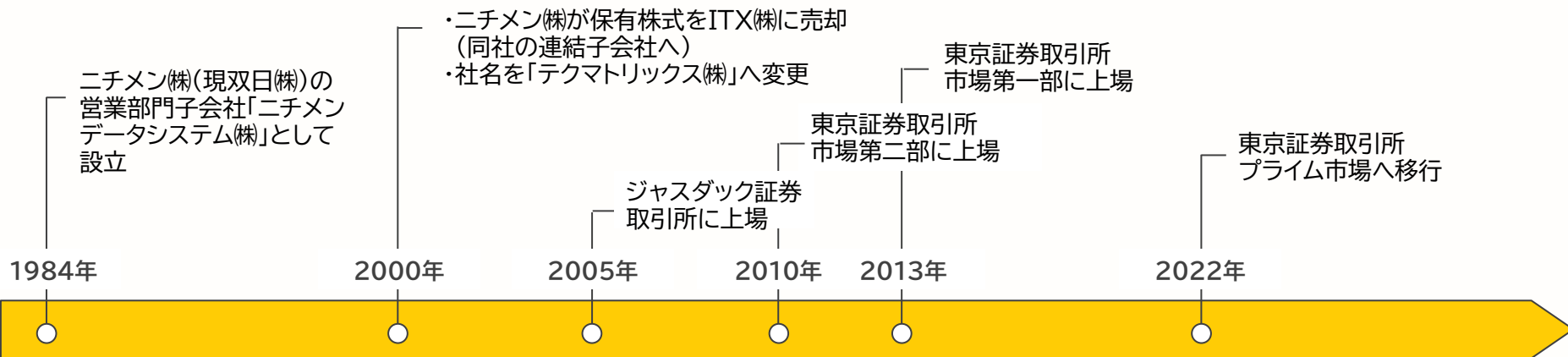
東京本社



西日本支店



沿革



1990年代

- 1996年 米国Security Dynamics社のワンタイムパスワードカード「SecurID」の販売代理権を取得(情報基盤事業)
CRMパッケージ「FastHelp」を自社開発し販売開始(CRM分野)
- 1998年 医用画像サーバ「Secured DICOM Server」を自社開発し販売開始(医療システム事業)

2000年代

- 2000年 損害保険会社向け統合ALM・リスク管理システム「ALARMS」を発売(ビジネスソリューション分野)
米国Parasoft社の自動ユニットテストツール群の総販売代理権を取得(ソフトウェア品質保証分野)
- 2009年 米国Palo Alto Networks社の次世代ファイアウォール製品の販売代理権を取得

2010年代

- 2012年 新医療クラウドサービス「NOBORI」を自社開発しサービス開始
- 2018年 タイ・バンコクに駐在員事務所設立
- 2019年 サポート&セキュリティサービス「TechMatrix Premium Support powered by TRINITY」の提供開始

2020年代

- 2021年 教育業界向けスクール・コミュニケーション・プラットフォーム+校務支援システム「ツムギノ(tsumugino)」を自社開発しサービス開始(教育分野)
- 2022年 PSP(株)の株式を取得し同社を連結子会社化、PSP(株)と(株)NOBORIを事業統合
エムスリーAI(株)設立(持分法適用会社)
本社を東京都港区港南へ移転
- 2023年 タイに現地法人TechMatrix Asiaを設立
アレクシアフィンテック(株)を完全子会社化し、金融システム関連事業を吸収分割によって同社へ承継
- 2024年 モビルス(株)の株式を取得し持分法適用会社化

Mission Statement

より良い未来を創造するITのプロフェッショナル集団

行動指針

- 共存・共栄の精神のもと、誠実、かつ真摯に顧客貢献・社会貢献に取り組む
- 常に謙虚に学ぶ姿勢を忘れず、新しい技術や新しいビジネスに挑戦し続ける
- オープンな議論を交わし、全員がチームの成功と成長にコミットする

事業セグメント

ネットワークセキュリティ

- 最先端のネットワーク/セキュリティ製品の提供
- 安全な情報基盤を構築
- 24時間365日の運用監視サービスの提供



情報基盤事業

CRM

- コンタクトセンター向けの 問合せ管理システムの提供
- FAQナレッジシステムの提供



ソフトウェア品質保証

- IoT時代の組み込みソフトウェア品質保証のためのテストツールの販売



Parasoft C/C++test



アプリケーション・サービス事業

医療システム事業

医療

- 医用画像管理システム(PACS)の提供
- PHRサービスの提供
- 遠隔読影のプラットフォームを提供



ビジネスソリューション

- インターネットサービス
- 金融分野でのソリューション提供



EdTech(教育)

- スクール・コミュニケーション・プラットフォーム「ツムギノ」の提供



tsumugino

テクマトリックsgループ

	子会社名(持分比率)		事業内容
情報 基盤	クロス・ヘッド株式会社 (100.0%)		ITシステム基盤のコンサルティング・設計・構築、海外IT製品の輸入・販売・サポート、ネットワークエンジニア派遣、ハウジング・リモート監視・運用・ディザスタリカバリーサービス、運用・監視業務コンサルティング・一括業務請負、マルチベンダー対応の全国オンサイト保守サービス、IT技術者教育・育成等
情報 基盤	OCH株式会社 (クロス・ヘッドの100.0%子会社)		ネットワークシステムのコンサルティング・設計・構築・保守、24h・365dフルマネージド運用監視サービス、クラウドによる各種ソフトウェアサービス(SaaS)、システムインフラ(IaaS)、GIX(沖縄 - 香港直結高速回線インフラ)サービスの提供
アプリ・ サービス	株式会社カサリアル (100.0%)		オープンソースソフトウェアによるシステム開発、IT技術者の教育等
アプリ・ サービス	アレクシアフィンテック株式会社 (100.0%)		金融工学と情報技術の重なる領域でのシステム企画、設計に強みをもち、豊富な業務ノウハウが組み込まれたARECCIAシリーズを中心に事業を展開
アプリ・ サービス	TechMatrix Asia Co., Ltd (TechMatrix Asia Holdings の50.1%子会社)		ASEAN地域においてコンタクトセンターCRMシステム/FAQナレッジシステム「FastSeries」の提供・マーケティング・技術サポートを展開
アプリ・ サービス	モビルス株式会社 (28.75%) ※持分法適用会社		コンタクトセンター向けSaaSプロダクト(モビシリーズ)などのCXソリューションを提供

テクマトリックsgループ

	子会社名(持分比率)	事業内容
医療	PSP株式会社 (50.02%) 	医療機関で撮影されたCT、MRI画像などの医療情報を、安全に管理・利用できる画像管理システム「EV Insite」およびクラウドサービス「NOBORI」、医療機関を支援するクラウドサービス「NOBORI PAL」、患者向けに、PHRサービスの提供
医療	合同会社医知悟 (PSPの95.0%子会社) 	遠隔画像診断を支援するIT情報インフラの提供、遠隔画像診断に対する業務支援情報サービス等の提供
医療	株式会社A-Line (PSPの84.1%子会社) 	医用画像データから取得できる医療被ばくの情報、検査単位・個人単位でクラウドに記録し、他の医療機関との線量情報を比較・参照することで、検査の最適化を促す、クラウド型線量管理システム『MINCADI』の提供
医療	エムスリーAI 株式会社 (PSPの35.0%子会社) ※持分法適用会社 	プラットフォームとして、さまざまな画像診断支援AIサービスを提供

本日のご説明内容

01

会社概要

02

業績推移と計画

03

当社グループの事業領域

04

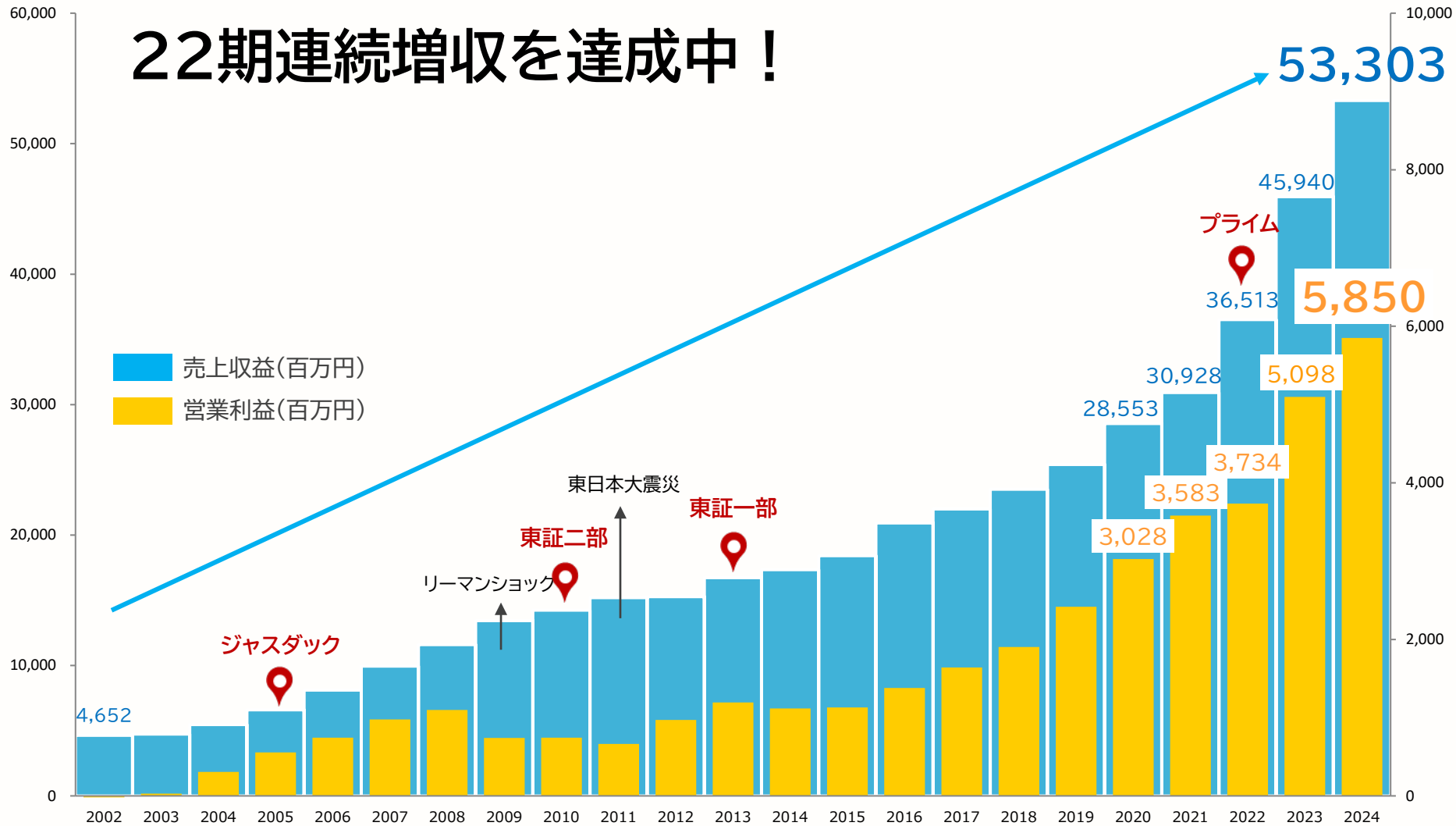
人事戦略、SDGs・環境への取り組み

05

株主還元、株主優待

22期連続増収

22期連続増収を達成中！



2024年3月期 累計 連結業績

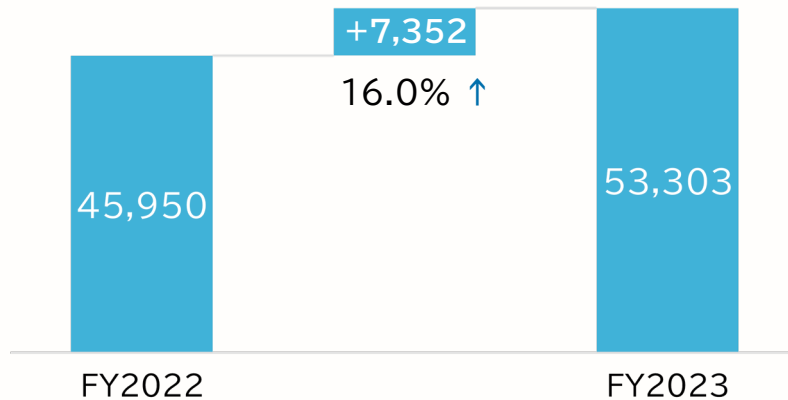
売上収益、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益
いずれも**過去最高**を記録。

	FY2022 (2023年3月期)	FY2023 (2024年3月期)	前年同期比	
	金額(百万円)	金額(百万円)	増減額(百万円)	増減率(%)
売上収益	45,950	53,303	+7,352	+16.0
営業利益 (営業利益率)	5,098 (11.1%)	5,850 (11.0%)	+751	+14.7 (△0.1%)
税引前利益	5,066	5,854	+788	+15.6
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,950	3,540	+589	+20.0

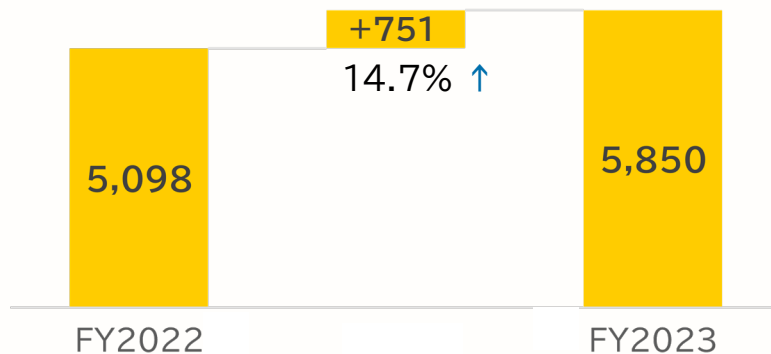
2024年3月期 累計 連結業績

※事業部名略称 ソフトウェア品質保証:SE

売上収益 (百万円)



営業利益 (百万円)



情報基盤事業

- クラウド型のセキュリティ対策製品の需要が引き続き好調。

アプリケーション・サービス事業:

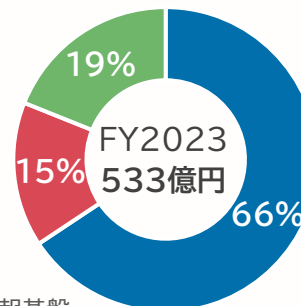
- CRM, SE分野(※)は、サブスクリプション化の進展によりストックが積み上がり、売上収益・営業利益が伸長。
- 教育分野は、新規事業として投資を継続。

医療システム事業

- 医用画像管理システム (PACS)は順調。

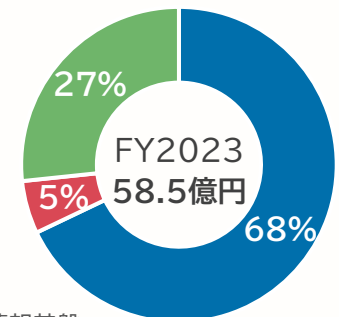
FY2023

売上収益構成比



- 情報基盤
- アプリ・サ
- 医療

営業利益構成比



- 情報基盤
- アプリ・サ
- 医療

医療システム事業部門は、FY2022よりアプリケーション・サービス事業部門より分離独立

2024年3月期 セグメント別の業績

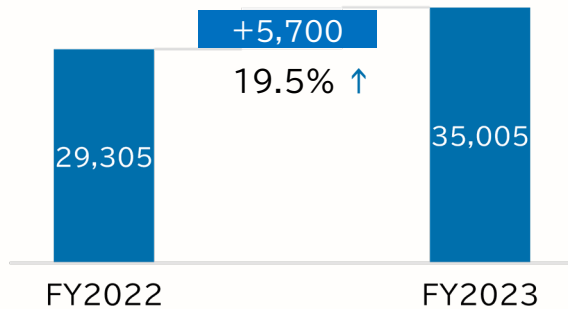
情報基盤事業は、売上収益・営業利益は過去最高を記録。

アプリケーション・サービス事業は、サブスクリプション化が軌道に乗り、売上収益・営業利益ともに順調。

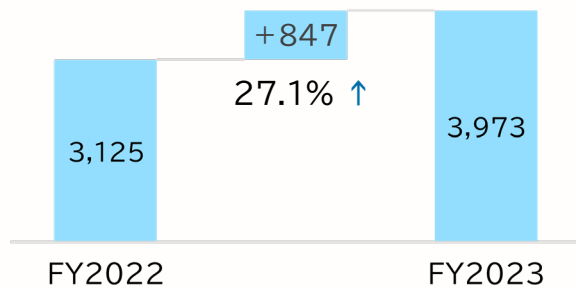
医療システム事業は、医用画像管理システムが順調。営業利益は経営統合初年度の特異要因等により減少。

情報基盤事業

売上収益(百万円)

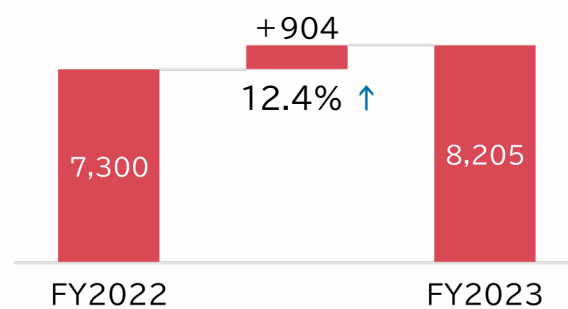


営業利益(百万円)

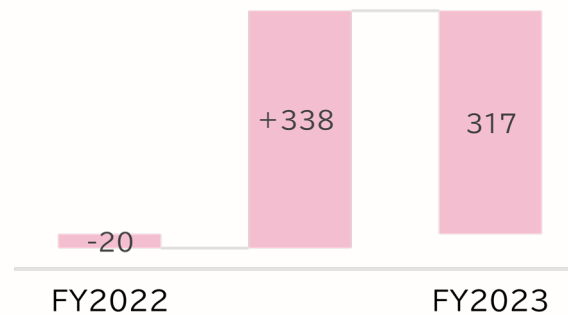


アプリケーション・サービス事業

売上収益(百万円)

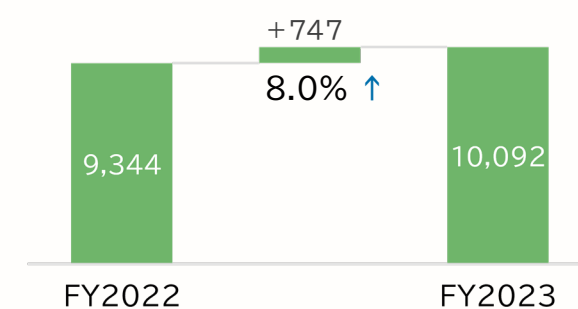


営業利益(百万円)

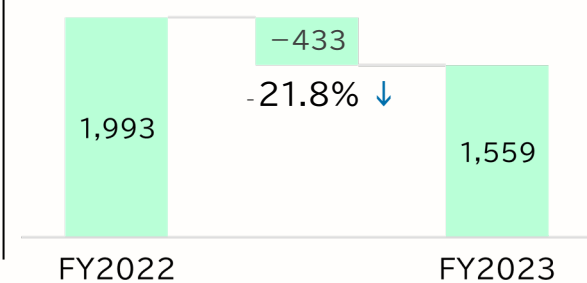


医療システム事業

売上収益(百万円)



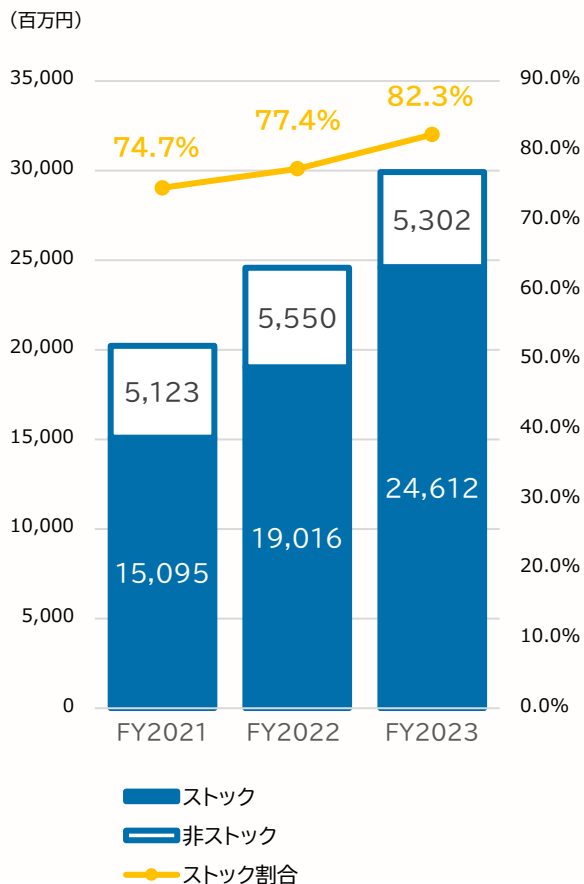
営業利益(百万円)



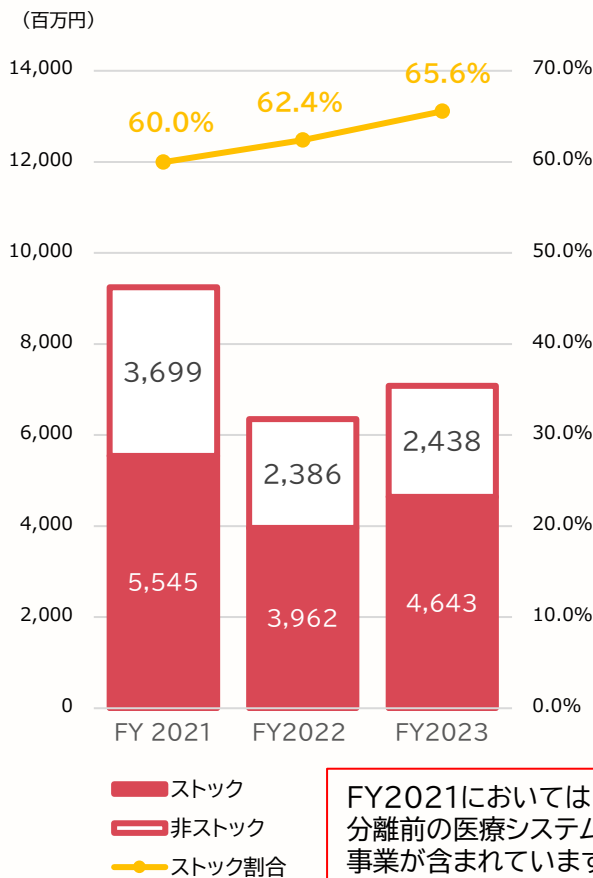
2024年3月期 ストック比率の進捗(単体、PSP株式会社)

当社では、安定した収益基盤を構築するため、売上収益のなかでサブスクリプション型の契約等を中心とした継続取引の比率を示す「ストック比率」の向上を目指しております。

情報基盤事業

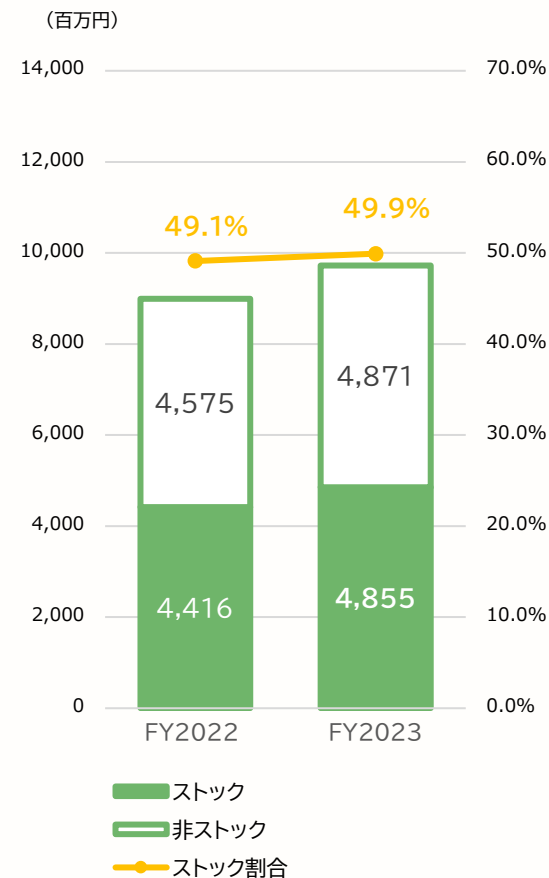


アプリケーション・サービス事業



FY2021においては
分離前の医療システム
事業が含まれています

医療システム事業



2024年3月期 連結財政状態計算書(B/S)

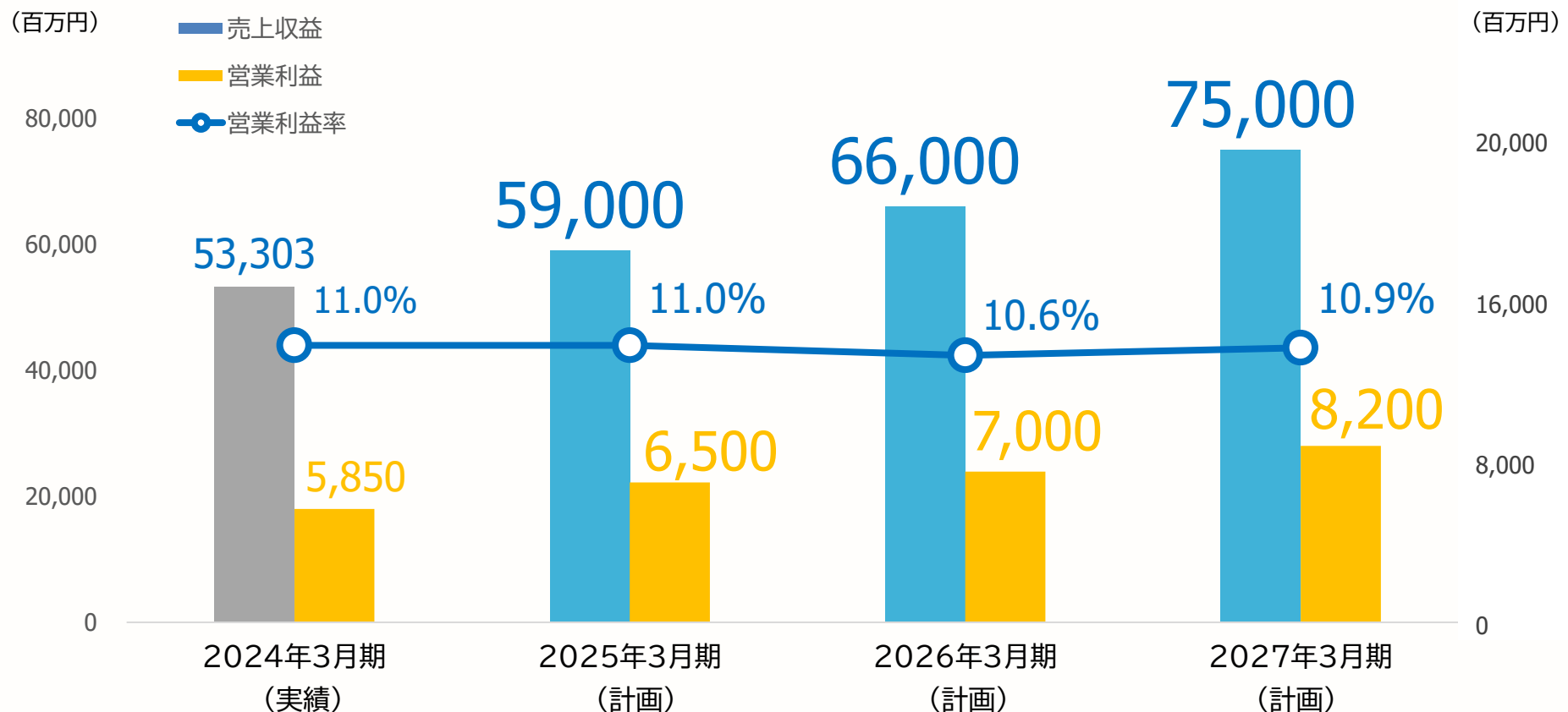
サブスクリプション型のクラウド型セキュリティ対策製品の受注が増加したことにより、「その他流動資産」に含まれる「前渡金」及び「その他流動負債」に含まれる契約負債のうち「前受金」が増加しております。

(百万円)

	FY2022	FY2023		FY2022	FY2023
流動資産合計	51,770	70,462	流動負債合計	36,044	51,648
現金及び預金同等物	20,071	27,265	営業債務及びその他の債務	2,145	2,230
営業債権及びその他の債権	6,274	6,874	借入金	570	570
その他流動資産	25,425	36,321	その他流動負債	33,329	48,847
非流動資産合計	13,920	15,294	非流動負債合計	5,729	7,064
有形固定資産	6,121	6,117	借入金	300	100
のれん	171	171	その他非流動負債	5,429	6,964
無形資産	2,141	2,420	資本合計	23,917	27,043
投資・その他の資産	5,485	6,584	資本金・資本剰余金合計	5,892	6,065
			自己株式	△974	△930
			利益剰余金	13,380	16,037
			その他の資本の構成要素	671	571
			親会社の所有者に帰属する持分合計	18,970	21,744
			非支配株主持分	4,946	5,299
資産合計	65,691	85,756	負債及び資本合計	65,691	85,756

新中期経営計画における業績目標(連結)

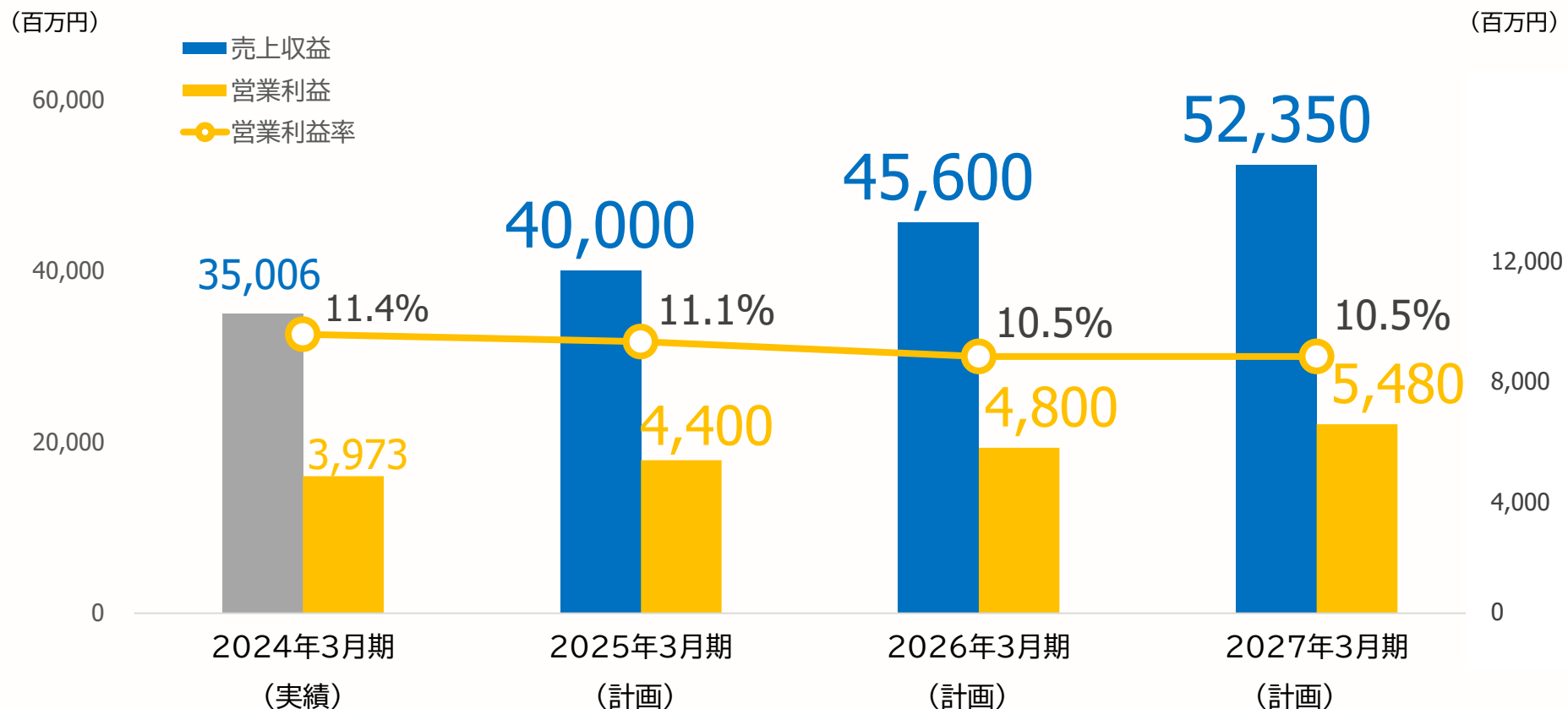
2027年3月期に**売上収益750億円**、過去最高益の**営業利益82億円**
次期中期経営計画では営業利益100億円を目指す



新中期経営計画における業績目標(情報基盤)

2027年3月期に**売上収益523億円**、**営業利益54.8億円**

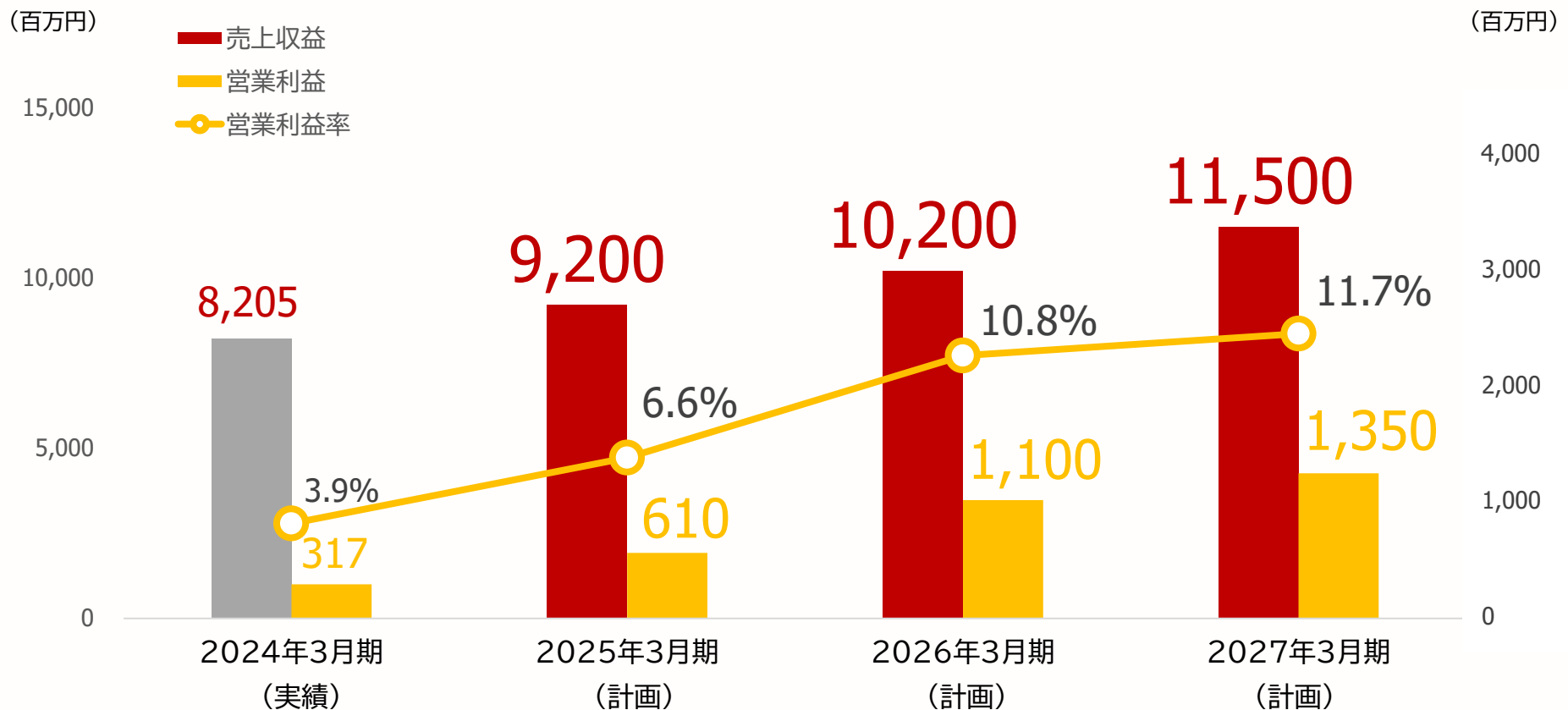
サポート体制の強化に向けた積極的な投資および先行き不透明な為替動向を勘案



新中期経営計画における業績目標(アプリケーション・サービス)

2027年3月期に**売上収益115億円、営業利益13.5億円**

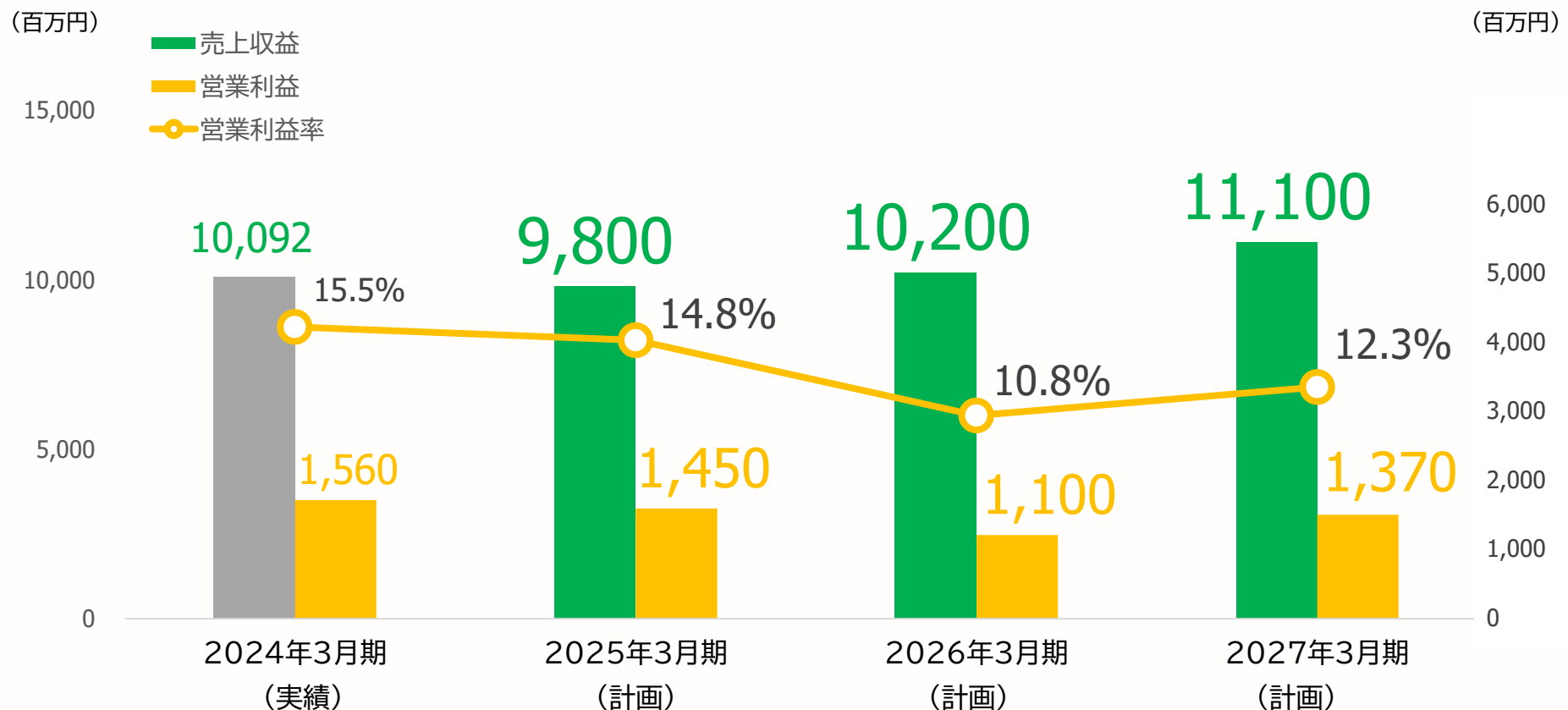
サブスクリプション型ビジネスへの移行が進展し、EdTech事業の赤字縮小を想定



新中期経営計画における業績目標(医療システム)

2027年3月期に売上収益111億円、営業利益13.7億円

新中計における最初の2ヶ年は、3年目以降での増収増益のための投資フェーズ



本日のご説明内容

01

会社概要

02

業績推移と計画

03

当社グループの事業領域

04

人事戦略、SDGs・環境への取り組み

05

株主還元、株主優待

身近なところで社会課題を解決



【全業種向け】

- サイバーセキュリティソリューション
- クラスターストレージ
- 情報基盤の設計・構築・保守・運用監視
- IT技術者の育成



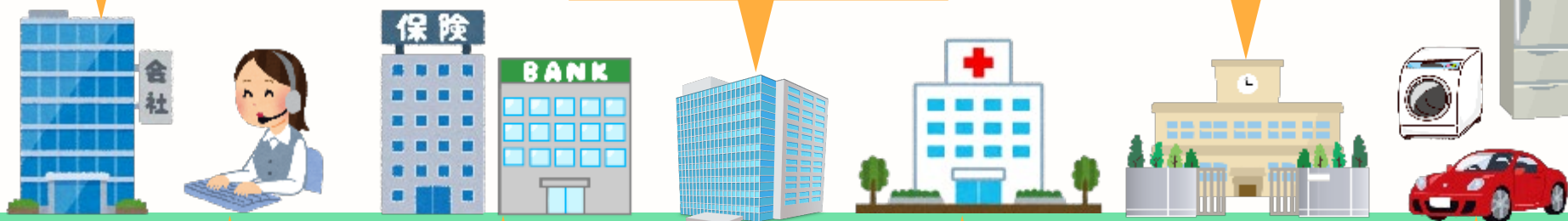
【研究機関向け】

- 論文・研究成果をはじめとする情報の蓄積や利活用、国内外に情報発信するシステムを提供



【教育機関向け】

- スクール・コミュニケーション・プラットフォームの提供
- 校務、教務、各種情報の一元管理



【コンタクトセンター向け】

- コンタクトセンター (CRM)の展開
Customer Relationship Management

【銀行・保険・証券会社向け】

- 金融資産に対する様々なリスクを計測

【医療機関向け】

- 医用画像の管理システム
- PHRサービスの提供
- 遠隔読影プラットフォーム
- AI診断サービスの開発

【製造業向け】

- IoT時代の組み込みソフトウェアの品質を保証するテストツールの販売



持続可能な社会の創造に向けたサービス価値の提供



持続可能な社会の創造に貢献

デジタル・トランスフォーメーション

ベスト・プラクティス

業務アプリケーション

ネットワーク、セキュリティ、AI、ビッグデータ、クラウド ...



ITプラットフォーム <基盤>

【テクマトリックスが提供する価値】

誰にでも使いやすいUXで
クラウド型業務アプリケーションを提供

内製化を推進するための
各種開発支援ツールを提供

社会インフラとしての安心・安全を確保する
サイバーセキュリティ・ソリューションを提供

テクマトリックスが培ってきた3つの強み

強み① 先見性・目利き力

社会のニーズの変化やテクノロジーの進化の方向性を読み解き、社会性・成長性の高いマーケットを特定し、早期に参入。

テクノロジー領域においては、成長ポテンシャルが高いパートナー企業を早期に発掘し、信頼に基づく強固なアライアンスを形成。

新しいテクノロジーと新しい事業分野を開拓し続ける。



特定分野における
高いマーケットシェアを確立

【例】

■テクノロジーの発見

情報基盤事業

:サイバーセキュリティ・ソリューション

アプリケーション・サービス事業

:ソフトウェア品質保証

■社会課題の発見

アプリケーション・サービス事業

:CRM、EdTech(教育)

医療システム事業

:PHRサービス、AI医療診断支援サービス

テクマトリックスが培ってきた3つの強み

強み② 専門性・技術力

日本の情報サービス産業特有の
労働集約的なビジネスモデルから脱却。

特定領域の「業務ノウハウ」や「特定の技術」に磨きをかける。

その専門性と技術力で
特定市場のトッププレイヤーを目指す。



高度かつ最先端な
ITのプロフェッショナル集団と
してパートナー、お客様との
強固なリレーションシップを構築

【例】

情報基盤事業

アプリケーション・サービス事業

医療システム事業

:サイバーセキュリティ・ソリューション

:CRM、ソフトウェア品質保証、
ビジネスソリューション、EdTech(教育)

:PHRサービス、医療診断支援サービス、遠隔読影

テクマトリックスが培ってきた3つの強み

強み③ 社会性・課題解決力

社会インフラの一部ともいえるサイバーセキュリティ分野や、医療、教育など社会インパクトの高い領域において、潜在する社会課題を発見する。

その課題を解決するソリューションを構築し、提供することで、持続可能な社会の発展に貢献する。



中長期的な視点で、
当社の存在意識を発揮しながら
社会課題を解決するとともに
持続可能な社会の創造に貢献

【例】

情報基盤事業

アプリケーション・サービス事業

医療システム事業

:サイバーセキュリティ・ソリューション

:EdTech(教育)

:PHRサービス

01 情報基盤事業

- 最先端のネットワークセキュリティ製品やクラスターストレージの提供
- お客様の安全な情報基盤構築のために、設計・構築・保守に加え、24時間365日の運用監視サービスの提供

求められるサイバーセキュリティ対策

コンピュータシステムに侵入し、
重要な情報を盗み取っていくサイバー攻撃が社会の脅威に

不正アクセス

標的型攻撃

ハッキング

フィッシング



ランサムウェア

高レベルのサイバーセキュリティ対策が、求められている

ディストリビューターとしての立ち位置

ディストリビューターとして、
メーカー、SIer・リセラー、エンドユーザーに価値を付加する



エンドユーザー

スピード×正確性のある保守回答の実現

- 国内の一次保守として、日本語でのサポート提供が可能
- テクマトリックス運営のナレッジサイトを公開し、いつでも自己解決ができるようサポート



SIer・リセラー

製品に関する技術スキルの移転及び技術支援

- テクマトリックス専任エンジニアが構築サービスを提供し、支援する
- テクマトリックス専任エンジニアによる、SIerのSEへの技術トレーニングの実施



メーカー

国内ニーズを正しく伝えて、売上拡大に貢献

- メーカーの販売戦略を理解して、国内での拡販に寄与する
- メーカーと同等の製品・専門知識を持ち、セキュリティ課題に対するソリューション提案を支援する

TechMatrix

ディストリビューター

ベストプラクティスの提供と高付加価値サービス



ベストプラクティスを高付加価値で提供
(設計・構築／保守／運用・監視)

ディストリビュータービジネスにとどまらない高度な運用監視サービス



TechMatrix Premium Support

powered by TRINITY

テクマトリックスが独自開発した、セキュリティ統合監視サービス
「TechMatrix Premium Support」



Point 高度化、巧妙化するサイバー攻撃に対し、
「包括的な脅威の検出と可視化」 × 「セキュリティ運用」 を最大限に効率化

■従来のデバイス単体監視の課題

- 1) 従来の単一製品の監視では、事象に対して『点』の分析となってしまう。
- 2) 各製品毎に運用担当者や監視ベンダが異なることで調査や情報連携、一次対応が遅延してしまう。
- 3) 暗号化通信の増加や巧妙化した攻撃手法により、監視・分析が困難な通信が増加傾向にある。



網羅的な統合セキュリティサービスを提供し
『点』ではなく『面』で捉える

ゲートウェイ、ネットワーク内部、エンドポイントの3点を軸とした網羅的な統合セキュリティ監視と
相関分析を行い、**未知マルウェア**に対するセキュリティ対策基盤の強化を実現します。

クラウドセキュリティの需要の高まり

<統一されたセキュリティポリシーの重要性>

テレワークの普及、他拠点企業におけるセキュリティポリシー統一の必要性が高まる

Point☞ デバイスや利用者のロケーションに依存しないセキュリティの提供

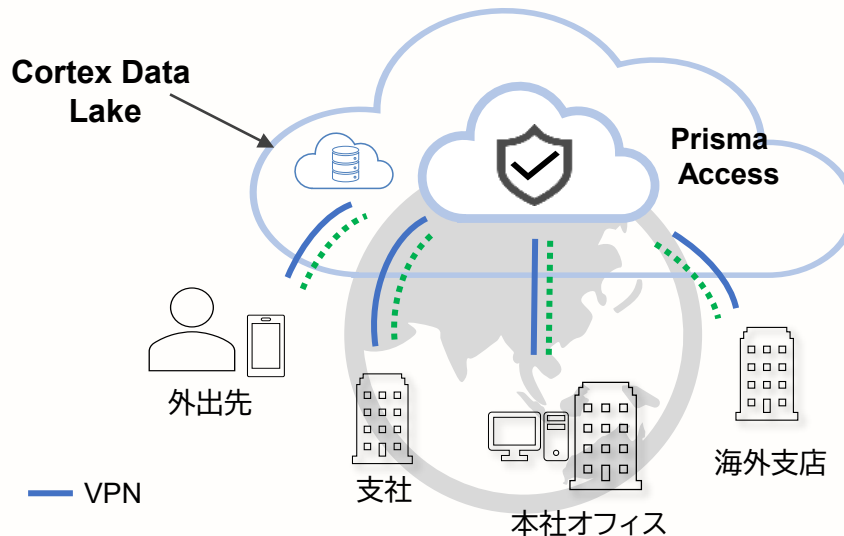
SASE(サッシー): Secure Access Service Edge

ネットワークとネットワークセキュリティを単一のフレームワークで提供するクラウドサービス



Palo Alto Networks Prisma Access

次世代ファイアウォールの機能をクラウド上で提供



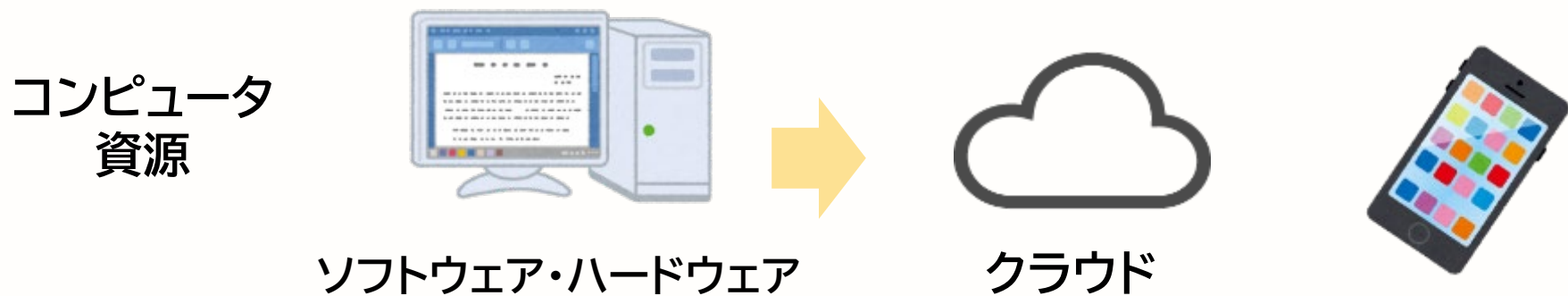
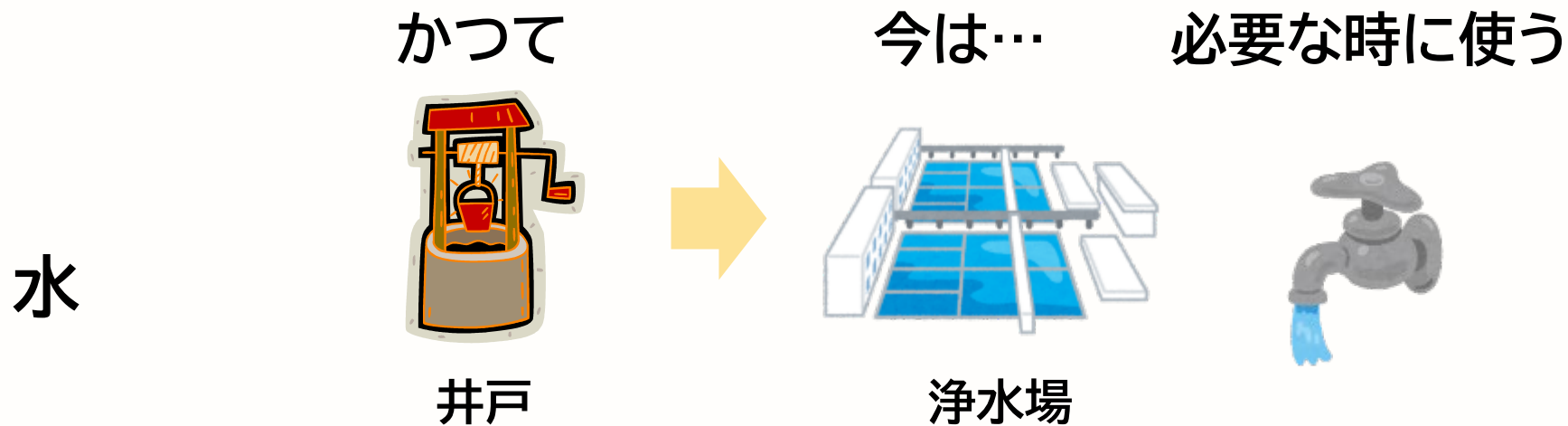
リモート拠点やモバイルユーザーも、次世代ファイアウォールと同じポリシーで防御

機器の設置/保守が不要

02 アプリケーション・サービス事業

- CRM等の分野でクラウド事業を展開
- IoT時代の組み込みソフトウェア品質保証のためのテストツールの販売
- インターネットサービス・金融分野でのソリューション提供
- IT技術者の教育事業
- スクール・コミュニケーション・プラットフォームの提供

クラウドにより「所有」から「利用」へ



クラウド経由で利用した分をお支払い

【CRM分野】コンタクトセンターCRMのクラウドサービス

顧客企業の優位性を高める コンタクトセンターCRMシステムを提供

- ・商品の問い合わせ
- ・購入後の問い合わせ

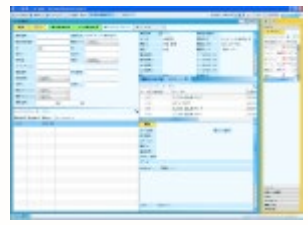


商品

様々な方法での
問い合わせ

FAX 電話
LINE
E-Mail WEB

FastHelp5



購入履歴や
過去のFAQ等を
一元管理



お客様の要望に
すぐ対応！

顧客満足度UP！



【CRM分野】モビルス社と資本業務提携

2024年1月、資本業務提携により、 コンタクトセンター向けソリューションの競争力を強化

市場の立ち位置・強み

シナジー

目的

TechMatrix

CRM 国内トップ

ボイス(電話)中心の
マルチチャネルが強み



MOBILUS

企業向けチャットボット 国内トップ

ノンボイス
(チャット / LINE / BOT),
生成AI領域が強み

販売提携(相互販売)

当社がモビルス社製品をOEM販売
モビルス社が当社製品を代理店販売

マーケティング

広告宣伝、販促活動の共同実施・集客協力

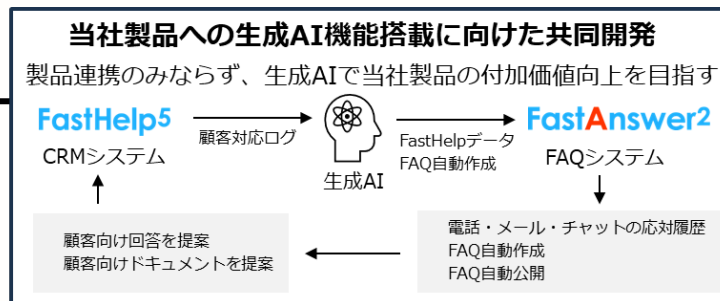
製品・サービス開発

モビルス社製品と当社製品の連携
共同研究、新規事業開発

海外事業

モビルス社製品の
ASEAN地域での販売

コンタクトセンターの
生産性と顧客満足度の向上



【CRM分野】モビルス社の製品と当社の製品を連携

モビルス社製品のOEM提供

テクマトリックス製品(FastSeriesブランド)として4製品の販売を開始

コンタクトセンターの業務効率化・顧客満足度の向上を実現

TechMatrix

ボイス(電話)中心の
マルチチャンネルが強み

製品連携・共同開発

MOBILUS

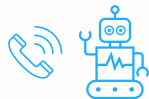
ノンボイス
(チャット / LINE / BOT),
生成AI領域が強み

Voice

ボイスボット

FastVoice

音声電話応答を自動化
するAIボイスボット



ビジュアル IVR(※)

FastNavigation

音声によるIVR(※)を
ビジュアル化したもの。

スマートフォンやPCの
ウェブブラウザ上に
選択肢をメニュー表示。



チャットボット

FastBot

顧客対応のシナリオを
簡単に作成。生成AIや
基幹システム等と連携
し顧客対応を自動化。



有人チャット
システム

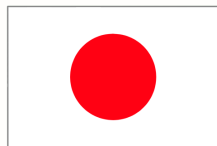
FastText

多機能な
有人チャットシステム。
細やかな顧客対応。



(※) IVRは、Interactive Voice Responseの略。ビジュアルIVRは、お客様の問い合わせ内容を認識して最適なチャンネルを視覚的にご案内します。

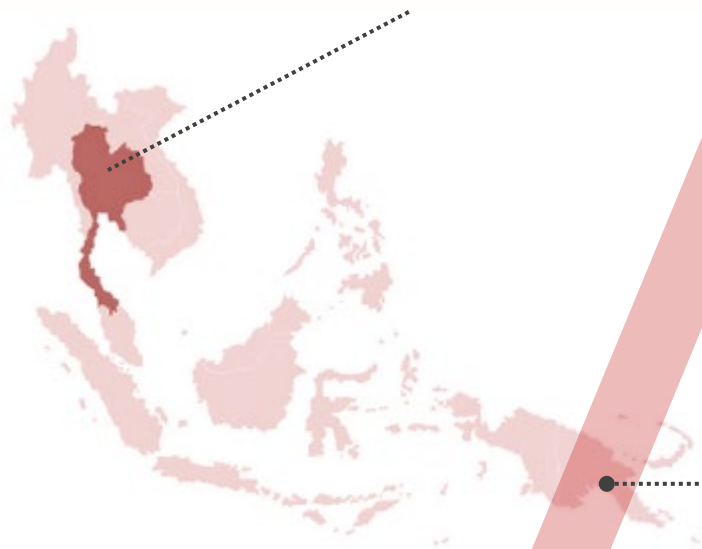
ASEAN地域での事業拡大を加速



JAPAN



THAILAND



TechMatrix Asia Co., Ltd

2023年4月

TechMatrix Asiaを設立

(タイに現地法人)



2022年10月

ChocoCard社と資本・業務提携

(CDP・タイ大手)



2021年7月

Wisesight社と資本・業務提携

(ソーシャルデータ分析クラウド・タイ最大手)

【CRM分野】FastSeries導入事例

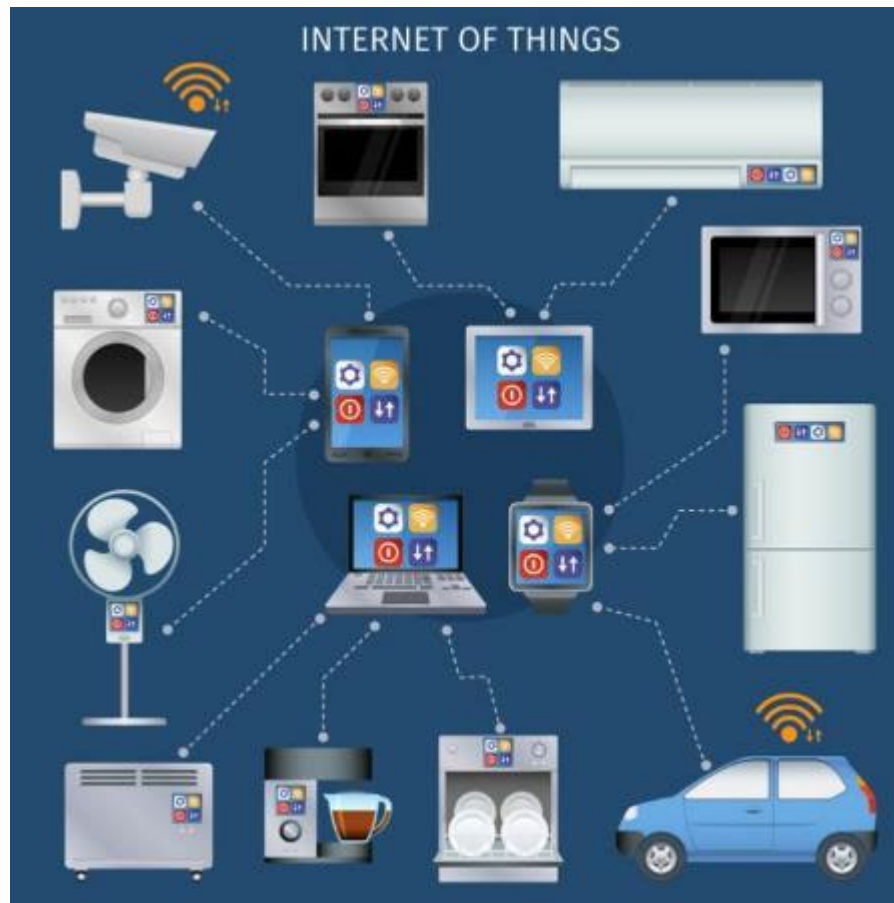
幅広い業種の企業様への導入実績(例)



※順不同

【ソフトウェア品質保証分野】ソフトウェア品質向上支援

あらゆる物がインターネットに接続し、ソフトウェアで制御されることにより、あらゆる物がサイバー攻撃の対象に



【ソフトウェア品質保証分野】ソフトウェア品質向上支援

ソフトウェア品質向上のためのテストツールや
開発を効率化する支援ツールの提供

■規格準拠のコンサルタント



① 厳しい欧州の安全基準に
日本でも適合必須

② 医療機器・自動車は
認証取得が必要に

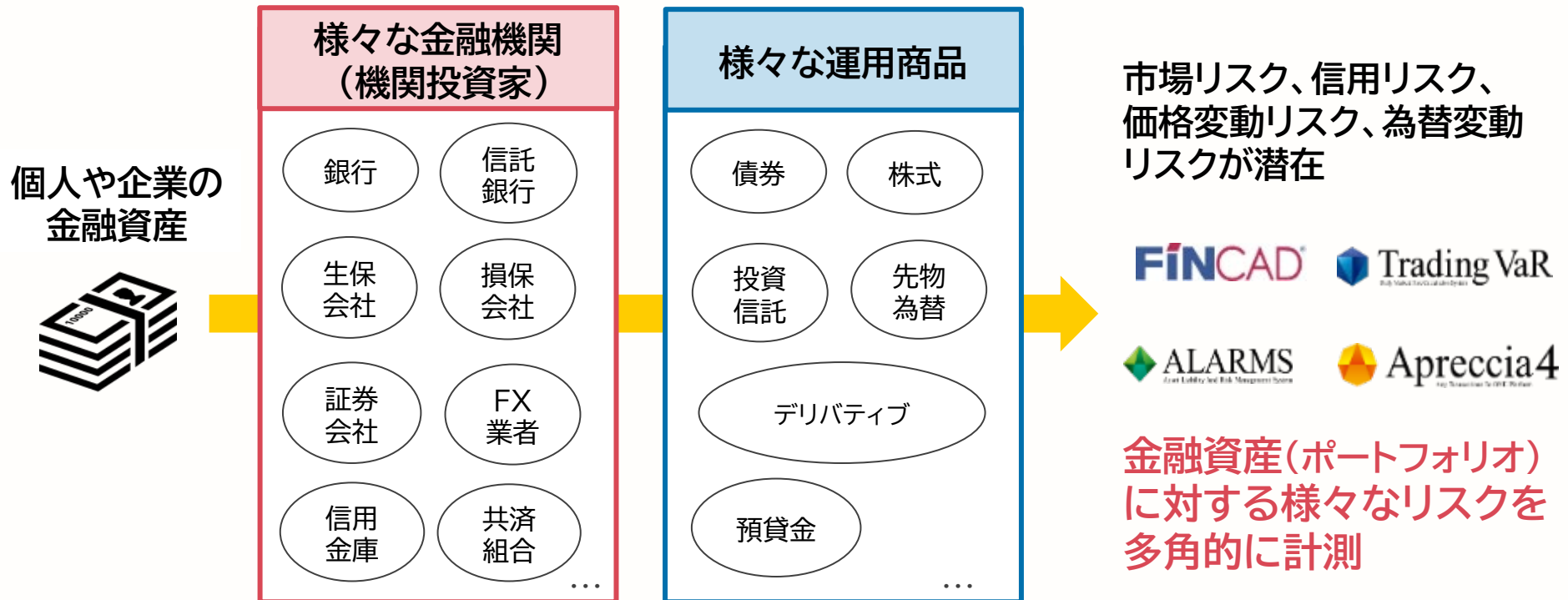
③ 認証の取得には
ノウハウが必要

テストツールの販売からコンサルティングまでトータルでサポート



【ビジネスソリューション分野】金融機関向けリスク管理

皆様の金融資産を預託・運用している、様々な金融機関の
安全性を保つためのリスク管理システムを提供



【EdTech(教育)分野】

～スクール・コミュニケーション・プラットフォーム～
教育分野におけるクラウド型サービス、「ツムギノ」



ツムギノ ⇒ “学び” を “未来” へ “紡ぐ” + innovation

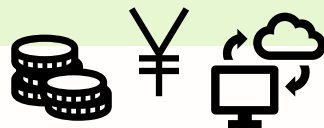
統合コミュニケーションプラットフォーム
+ 校務支援システム「typhoon」をもとにしたクラウド型サービス

①教職員の負担軽減



各種情報を一元管理
教職員の共有・発信も容易
→ 充実した教務・校務支援

②投資コストの負担低減



機器への投資不要
最新のセキュリティを適用
→ 月額利用のクラウド型

③子どもが主役のシステム



子どもの日々の活動を記録
(周囲のフィードバックも)
→ 学びの履歴を蓄積

④優れたUI/UX



デザイン性・操作性◎
マルチデバイス対応
→ 容易なコミュニケーション

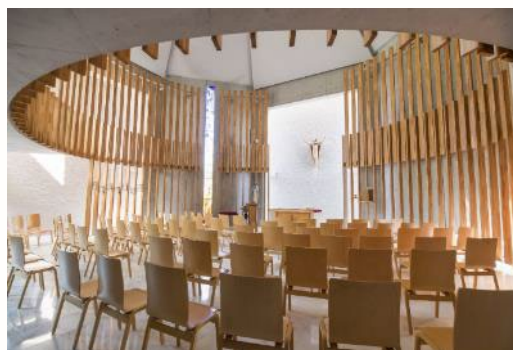
学校教育をこれまでの全員一斉・受動型から、自主的・探究型へと進化
子ども一人ひとりの未来への可能性を広げます

【EdTech(教育)分野】ツムギノ導入事例

軽井沢風越学園



広島学院中学校・高等学校



学校法人堀井学園
横浜創英中学・高等学校



学校法人新渡戸文化学園
新渡戸文化中学・高等学校



学校法人梅花学園
梅花中学校・梅花高等学校



京都教育大学附属
桃山小学校

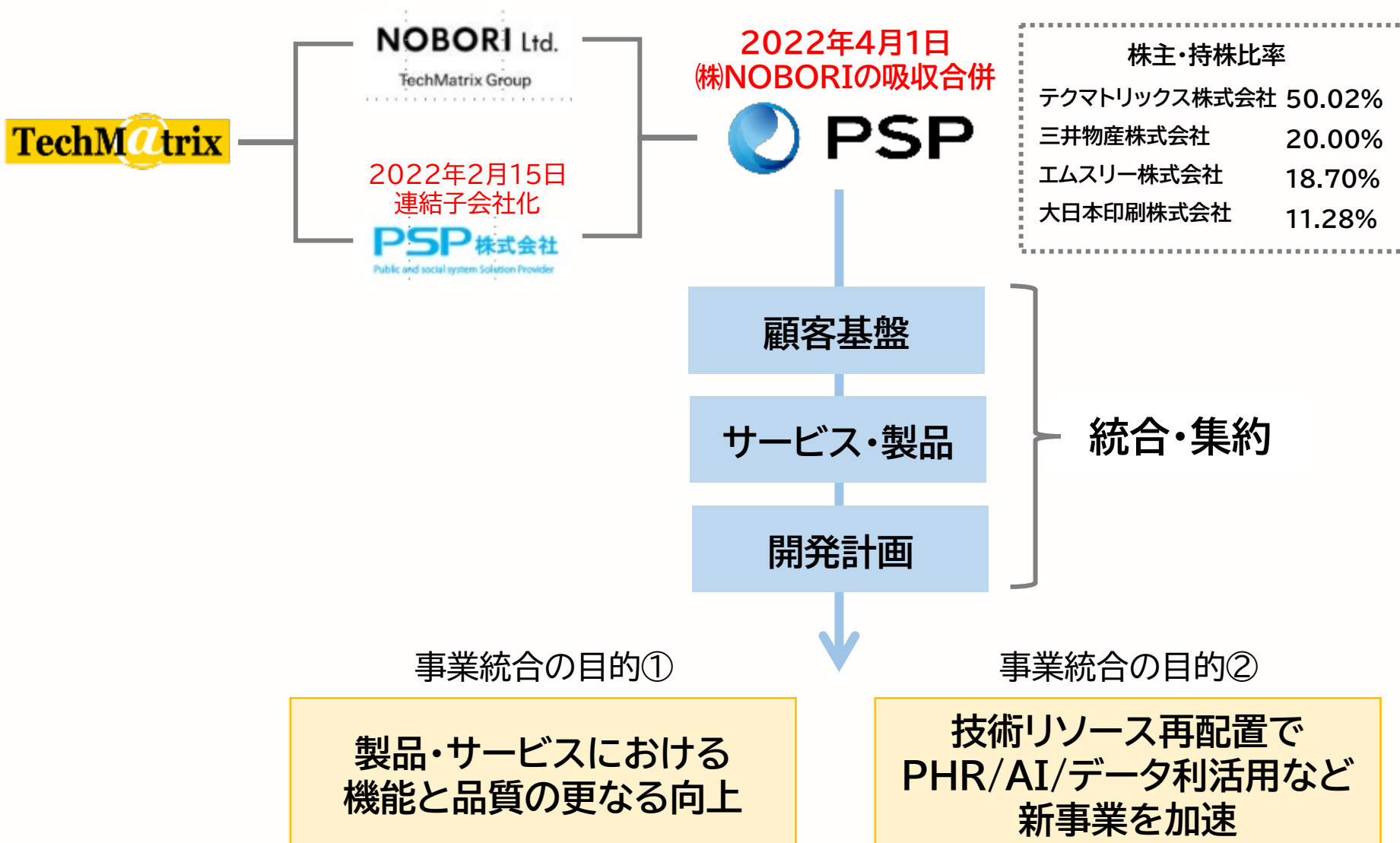


※順不同

03 医療システム事業

- 医用画像管理システム(PACS)の提供
- PHRサービスの提供
- 遠隔読影のプラットフォームを提供

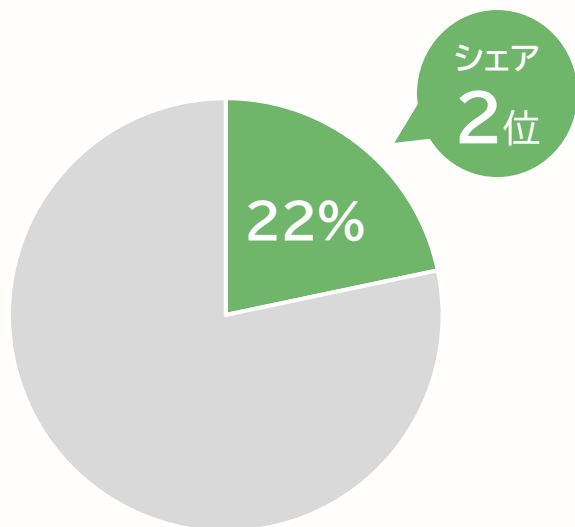
株式会社NOBORIとPSP株式会社の事業統合



【医療分野】PACS市場におけるマーケットシェア

市場環境

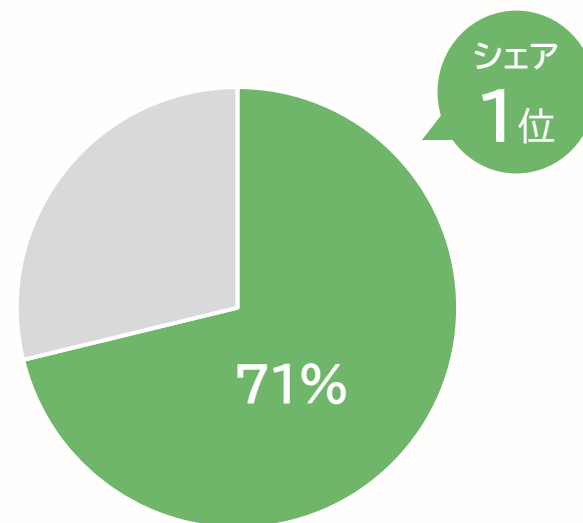
PACS市場(オンプレ+クラウド)



(n=11,305施設)

稼働施設数ベースで
PACS市場 シェア2位

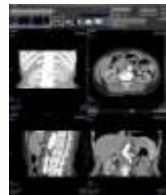
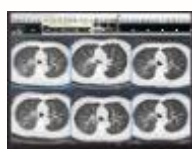
PACS市場(クラウド)



(n=1,686施設)

契約施設数ベースで
クラウドPACS市場 シェア1位

医療施設で撮影されたCT、MRI画像等の医療情報を安全に保管・利用できるクラウドサービス「NOBORI」の提供



NOBORI CUBE

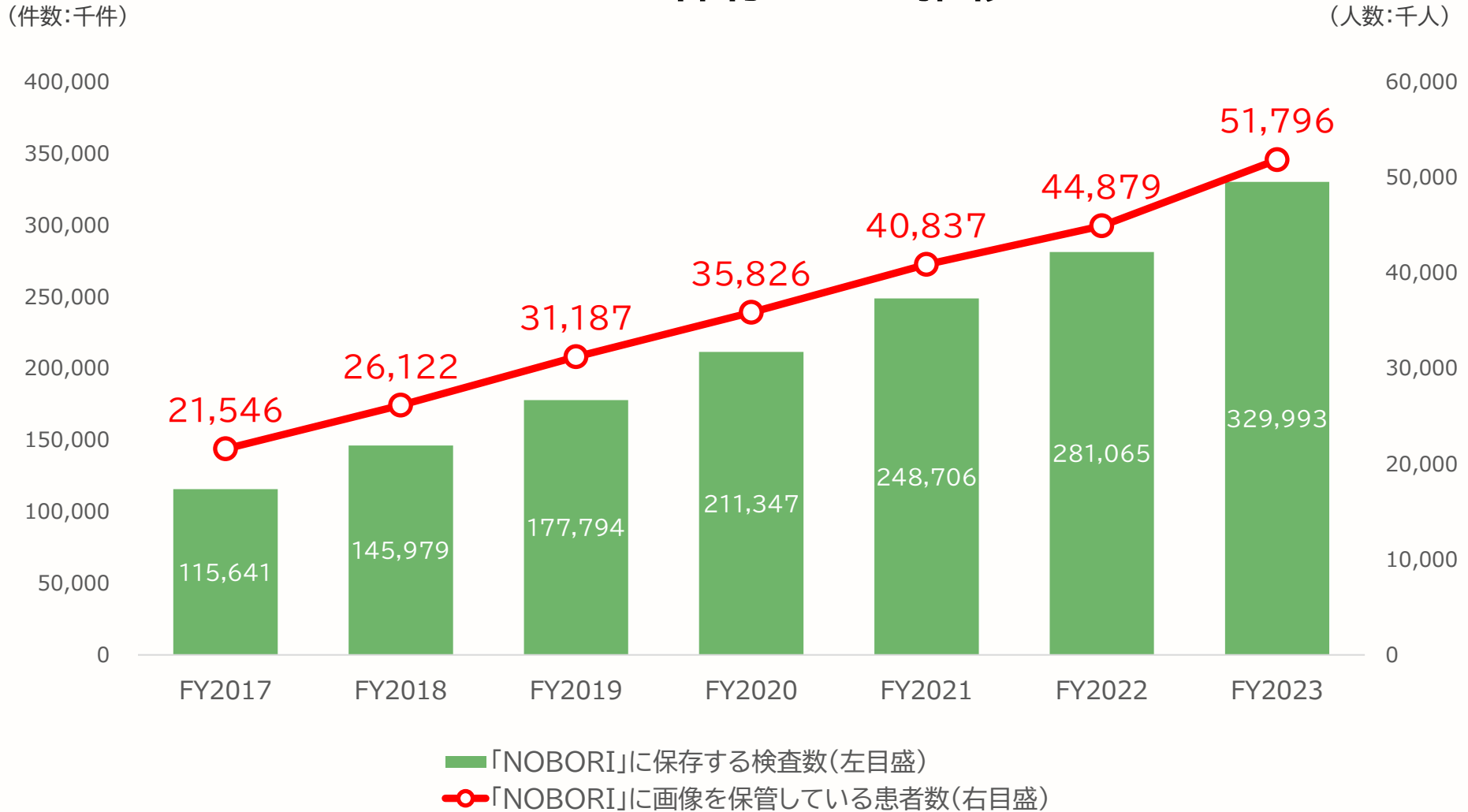
初期投資ゼロ！
IT技術者確保不要！
スペース確保不要！



四重管理

- 低価格・短期間で導入できるNOBORIにより、医療クラウドサービス市場において先行
- 大規模病院の成約に加え、パートナー営業強化により、今後も契約数は順調に推移予定
- NOBORIユーザが利用できる、検査予約サービス等のアプリケーションをNOBORI PALで提供

NOBORI保存データ推移



【医療分野】BtoC向け新サービス

個人向け(患者様向け)の PHR(Personal Health Record)サービス

通院予定



検査結果



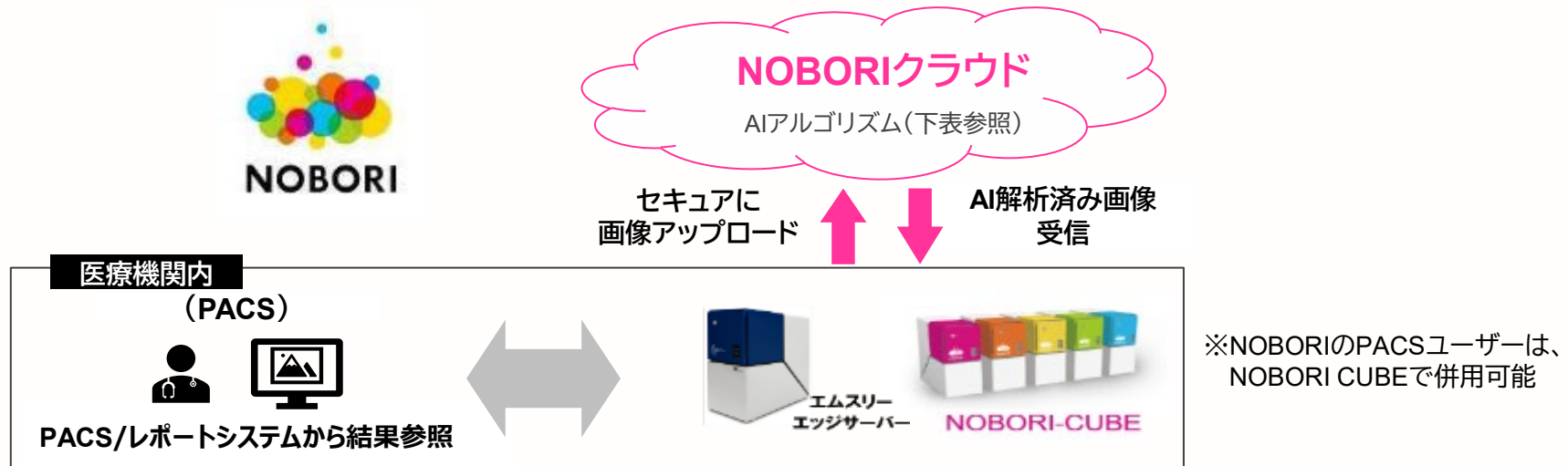
お薬



画像情報



エムスリー株式会社と業務提携 両社にて医用画像診断支援AIプラットフォーム事業を推進



病状	AI開発企業	補足
脳動脈瘤	エルピクセル* *当社は2018年に同社へ出資しています。	脳の血管から脳動脈に似た候補を検出
肺がん		レントゲン画像から肺がんの疑い部位を検出
新型コロナウイルス	アリババ・エムスリー	肺炎の有無を判別
肺結節	ビューノ	韓国で100万件以上の画像をもとに開発 2020年10月に取扱開始

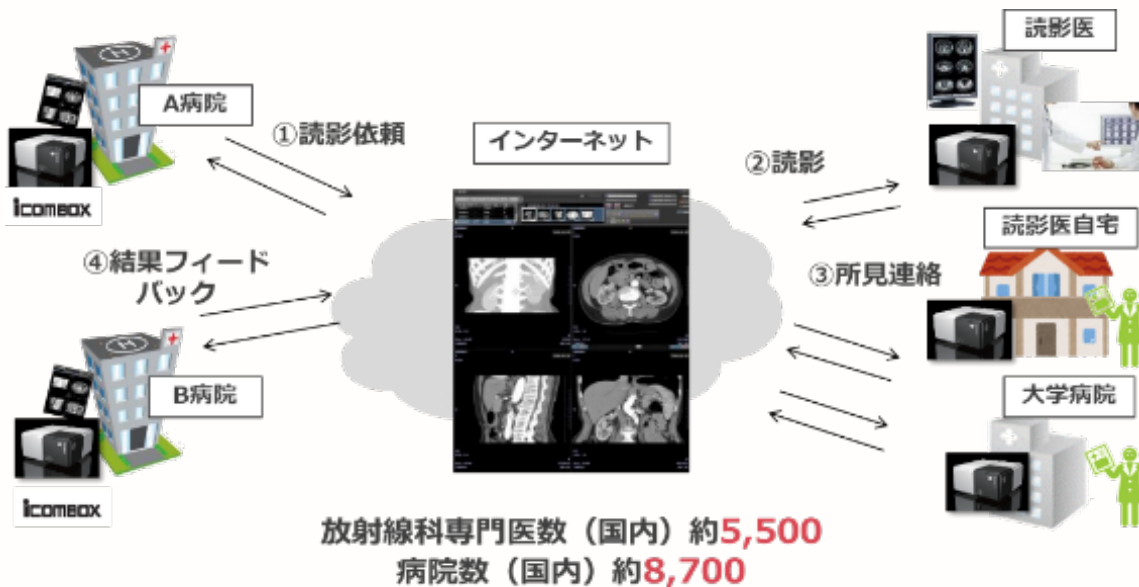
2008年4月のサービス開始より接続拠点数 **1,100拠点以上**

読影件数 約34万件/月 **シェアNo.1**

登録利用専門医**2,300名以上**、インフラとしては**シェアNo.1**

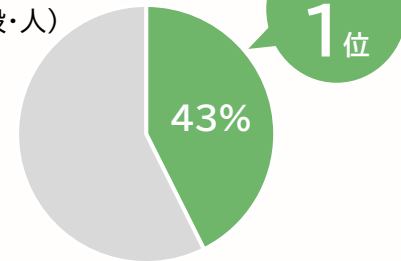
「iCOMBOX」を用いた遠隔画像診断を支援するプラットフォームの提供

<イメージ図>

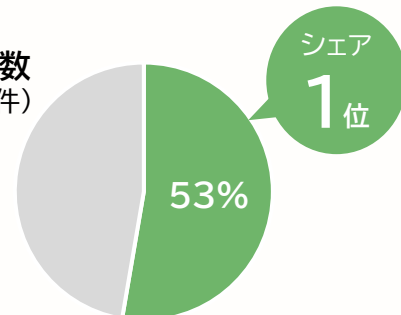


<インフラ遠隔読影市場>

■ユーザー数
(n=5,066施設・人)



■月あたり件数
(n=549,880件)



*株式会社矢野経済研究所『2023年版 医用画像システム(PACS)・関連機器市場の展望と戦略』より当社作成

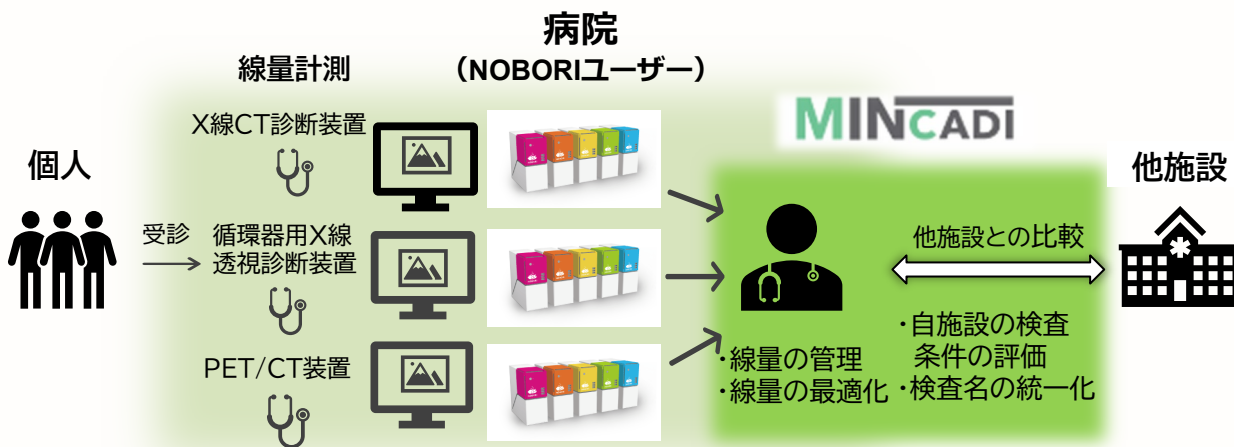
医療被ばく線量の管理システム「MINCADI」の提供

医療画像やCTなど画像検査装置より得られる情報を自動取得し、患者毎の医療被ばく線量、検査毎の撮影条件を管理、最適化するソリューション

<医療分野における線量管理>

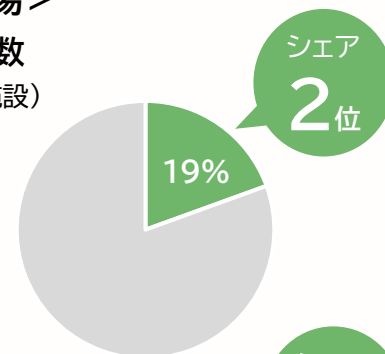
Point 2020年4月1日 **法改正による医療被ばくの線量記録および線量管理の義務化**
 (対象：X線CT診断装置、循環器用X線透視診断装置、PET/CT装置、SPECT/CT装置および診療用放射性同位元素)

<イメージ図>

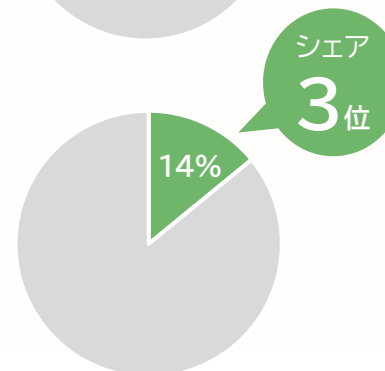


<線量管理市場>

■稼働施設数
(n=2,726施設)



■導入台数
(n=496台)



*株式会社矢野経済研究所『2023年版 医用画像システム(PACS)・関連機器市場の展望と戦略』より当社作成

本日のご説明内容

01

会社概要

02

業績推移と計画

03

当社グループの事業領域

04

人事戦略、SDGs・環境への取り組み

05

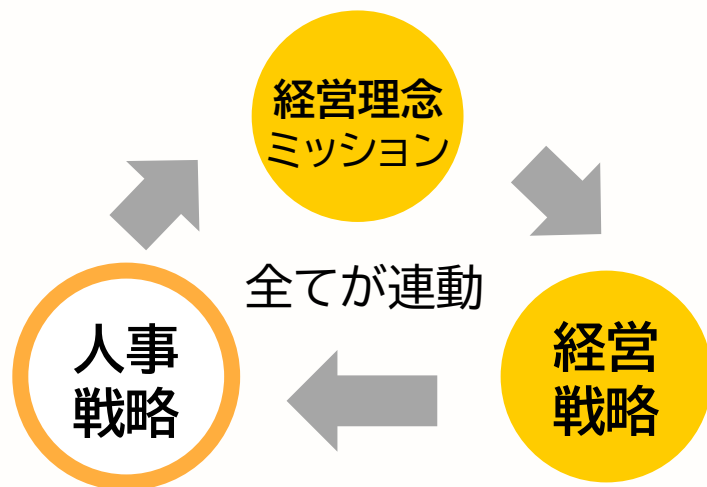
株主還元、株主優待

テクマトリックスの人事戦略

競争力の源泉は“人材”

人事戦略の全体像

より良い未来を創造するIT
のプロフェッショナル集団



経営戦略を実現する
人事戦略

具体的な人事戦略のテーマ

採用

- ・女性採用比率 **31.0%**
- ・女性労働者比率 **25.8%**
(2023年度実績)

育成 活躍

- ・高度IT人材の育成、研修予算の割当
- ・資格取得報奨制度の充実
- ・管理職研修、経営人材の養成

定着

- ・在宅勤務制度、フレックスタイム制度
- ・有給休暇取得奨励日の導入
- ・人事評価・処遇制度の改定
- ・キャリアチャレンジ・キャリアデザイン制度

エンゲージ メント

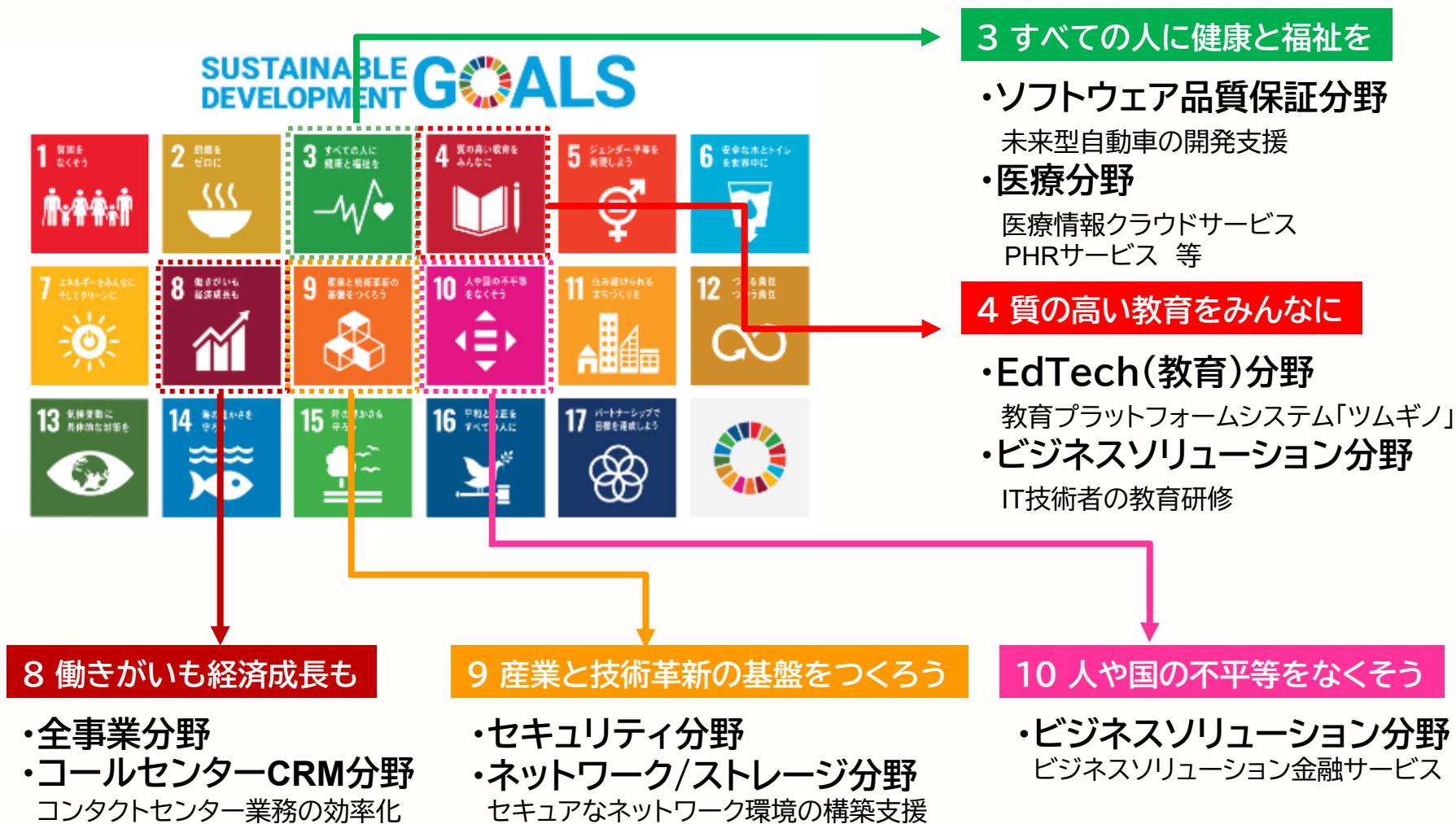
- ・人権の尊重
- ・従業員エンゲージメントの実施
- ・D&I推進室の設立

※詳細は当社ホームページに開示しております。

https://www.techmatrix.co.jp/ir/social/social_1.html

SDGsへの取り組み

持続可能な社会の創造に向けて
当社の事業活動とソリューションの提供を通じてSDGsの達成に貢献



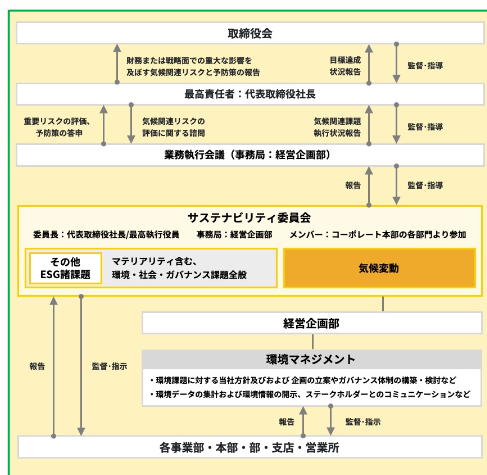
環境への取り組み(TCFD提言に基づく情報開示)

気候変動への対応を重要な経営課題の一つと認識 カーボンニュートラル達成に向け活動を推進

01 ガバナンス

気候変動への対応については、全体の業務執行責任を担う「業務執行会議」の配下にある「サステナビリティ委員会」が進捗を管理しています。

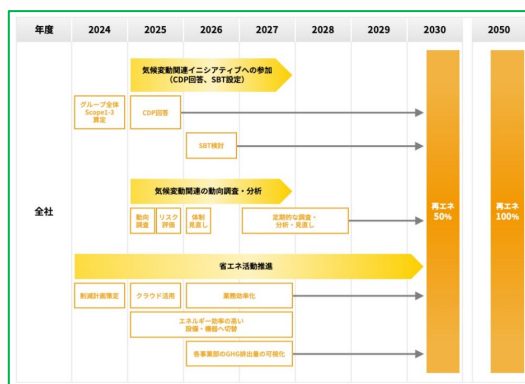
その施策・立案については、環境マネジメントを所管する経営企画部と連携しながら各事業部・本部・部・支店・営業所に
対し監督を行っています。



02 戦略・行動計画

気候変動におけるリスクと機会の特定を行い、事業に重要な影響を与える項目について、**気候戦略及び行動計画を作成**しました。

また、このリスクと機会の中で比較的大きな影響があると推測された一部の項目について、1.5℃および4℃シナリオ等のパラメータを用い、シナリオ分析を行いました。



03 指標と目標

■GHG排出量目標

気候変動への対応は重要な社会課題であると認識し、当社グループの事業活動に伴うCO₂排出量を2030年度までに2020年比で46%削減する目標を設定しました。

■ネットゼロ目標

当社の事業活動に伴い排出されるGHGの内、約73%が電力由来、残り約27%が空調におけるガス利用から排出されるものです。

今後、事業活動における電力は再生可能エネルギー由来に変更し、残るGHG排出は Jクレジット・グリーン電力証書・非化石証書等の購入により相殺し、事業活動に伴う全てのGHG排出量について、**2050年までにカーボンニュートラルを達成**させる目標を設定しました。

※詳細は当社ホームページに開示しております。

https://www.techmatrix.co.jp/ir/esg/esg_01.html

本日のご説明内容

01

会社概要

02

業績推移と計画

03

当社グループの事業領域

04

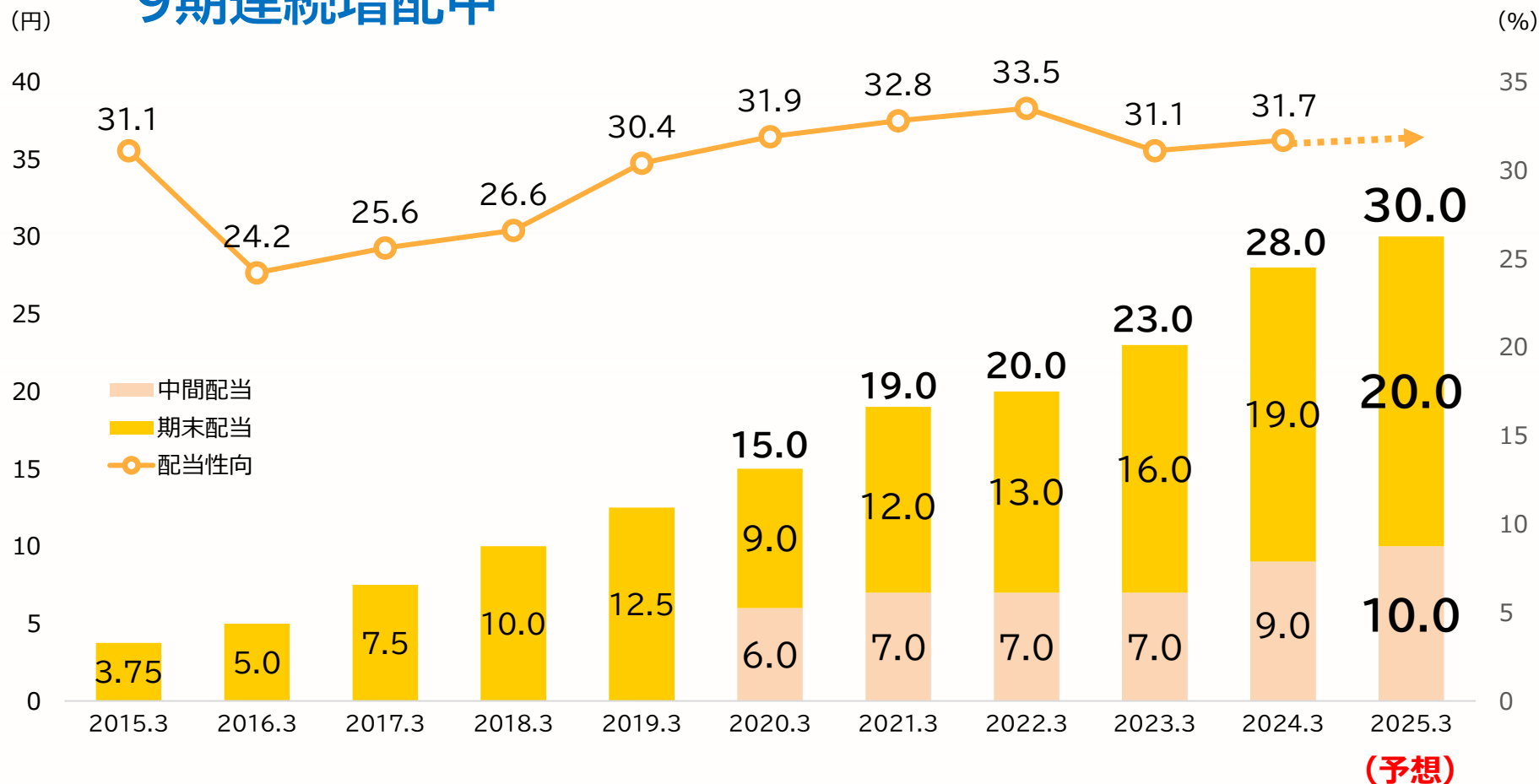
人事戦略、SDGs・環境への取り組み

05

株主還元、株主優待

株主還元 配当金

配当性向30%以上
9期連続増配中



※2017年3月1日及び2020年7月1日付で、それぞれ株式1株につき2株の株式分割を行っておりますため、過年度の配当実績額につきましては株式分割が行われたと仮定して表示しております。

株主優待

500株以上の当社株式を保有する方に対して株主優待を実施

※下記はイメージです

1,500円相当
(500株~1,000株
未満保有の株主様)



おみそ汁贅沢ギフト



果実たっぷり
ふじ林檎ケーキ



山形県産 ハーブ鶏の
西京風味噌漬け



新潟県産
こしひがき 2kg



和歌山県産
有田みかん 1kg



野菜生活100
国産プレミアムギフト

4,000円相当
(1,000株以上
保有の株主様)



鹿児島県産
黒牛の煮込みハンバーグ



宮崎県産
霧峰牛モモすき焼き



熊本県産
大阿蘇鶏モモ・
ムネナベ・焼肉セット



北海道産
いくら醤油漬け



山形県産
やまがたのフルーツ
あんみつ



愛媛県産
宮内伊予柑 3kg

<寄付>

保有株式数に応じた金額を、

「公益財団法人 日本ユニセフ協会」または「一般財団法人 あしなが育英会」へ寄付いただくことができます。

※2024年9月30日時点で、当社株主名簿に記載または記録された、500株以上の当社株式を保有する株主様が対象。

ご静聴ありがとうございました

より良い未来を創造するITのプロフェッショナル集団



テクマトリックス株式会社

(証券コード 3762)

The logo for TechMatrix, featuring the word "TechMatrix" in a bold, black, sans-serif font. The letter "a" is white and is enclosed within a yellow circle that overlaps the yellow background bar. The entire logo is set against a solid yellow rectangular background.

＜本資料の取り扱いについて＞

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあります。

従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや確実性がありますことを、予めご了承ください。

＜お問合せ先＞

テクマトリックス株式会社 経営企画課

TEL : 03-4405-7802

Email : ir@techmatrix.co.jp